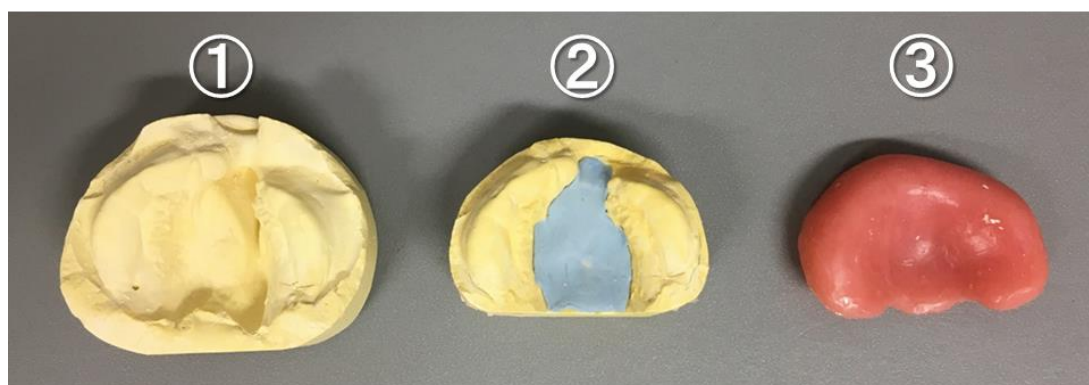


令和 3 年 7 月 29 日
岡 山 大 学**岡山大学病院口唇裂・口蓋裂総合治療センターの新たな試み：
ホッツ床を出来るだけ早期にお渡しする取り組みを始めました
(要事前連絡・当院を受診の方)**

岡山大学病院口唇裂・口蓋裂総合治療センターでは、新たな取り組みとして、ホッツ床を出来るだけ早期にお渡しする体制を整えました。口唇裂・口蓋裂は、約 500 人に 1 人の比較的高い割合で発生する先天性疾患です。口蓋裂を伴って生まれた新生児は、口の中を陰圧にすることが難しい場合があり、円滑な哺乳を可能とするためには、できるだけ早期に上顎の歯型を取ってホッツ床という装置を作製します（写真）。これまで、装置を患者さんにお渡しするまで、1~2 週間程度を要していたため、一日も早く円滑にミルクを飲めるようにすることが長年の課題でした。

そこで、同センターでは、新たな取り組みとして、産科婦人科と連携して妊娠中から、出生前カウンセリングを十分に行い、出生後に円滑に治療を開始する体制を整えました。この体制により、ホッツ床作製の事前準備を十分に行い、状況に応じて最短でその日のうちにホッツ床をお渡しする体制を整えました。今後も、医科・歯科を有する大学病院のメリットを生かして、優れた医療を優しく提供します。

【概要】同センターは、患者が高度で総合的な治療を 1 施設で継続して受けられる体制を目指し、これまで口唇裂・口蓋裂の診療を行ってきた専門医が医療連携を強化するために 2015 年に設立され、医科・歯科を有する大学病院のメリットを生かし、口唇裂・口蓋裂専門医療従事者が密に連携することにより、口唇裂・口蓋裂患者に関する診療情報を共有して、一貫したチーム治療を提供してきました。この度、産科婦人科との連携をさらに強化し、出生前カウンセリングを拡充し、ホッツ床を出生後の出来るだけ早期にお渡しする取り組みを始めました（要事前連絡・当院を受診の方）。

**ホッツ床作製の流れ：**

- ①事前にご連絡いただき、初診時に上顎の歯型を取り、模型を作ります（写真①）。
- ②模型上で、鼻と交通している部分を塞ぎます（写真②の水色の部分）。
- ③特殊なプラスチック（表面は硬く、上顎に接する裏面は柔らかい素材）で装置を作ります。完成したホッツ床（写真③）。状況により、その日のうちにお渡しすることが可能です。

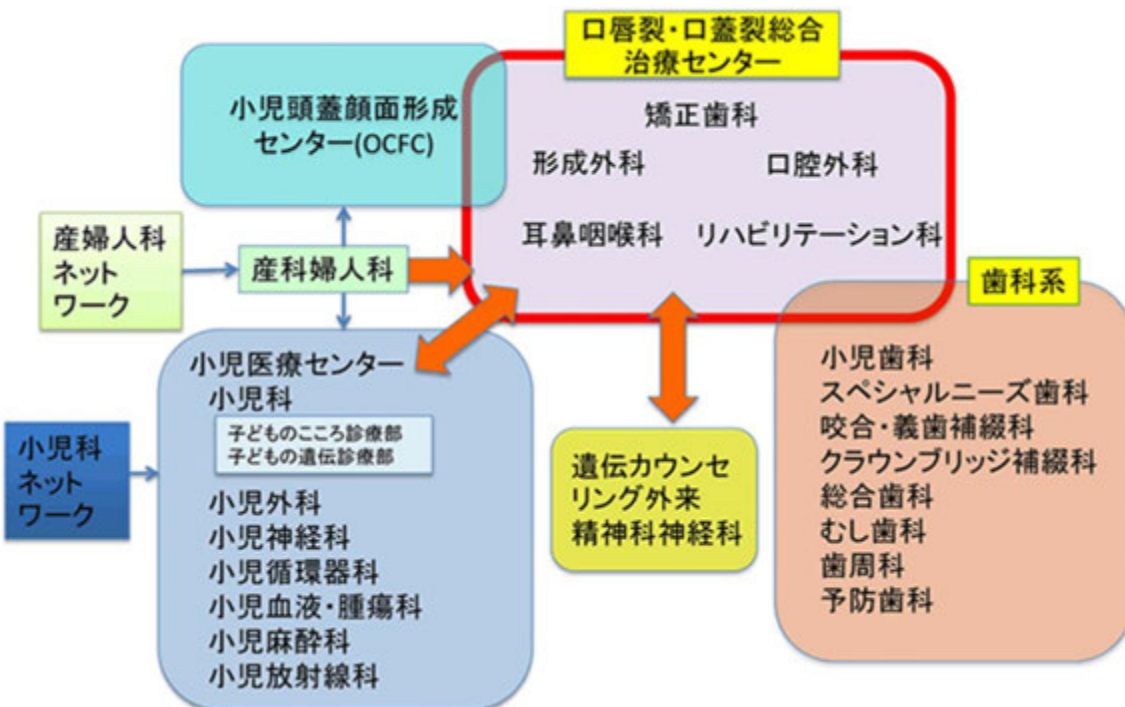


PRESS RELEASE

添付資料 1-1) ホッツ床装着までの従来の体制と新たな体制



添付資料 1-2) 当センターの連携体制



添付資料 1-3) リーフレット

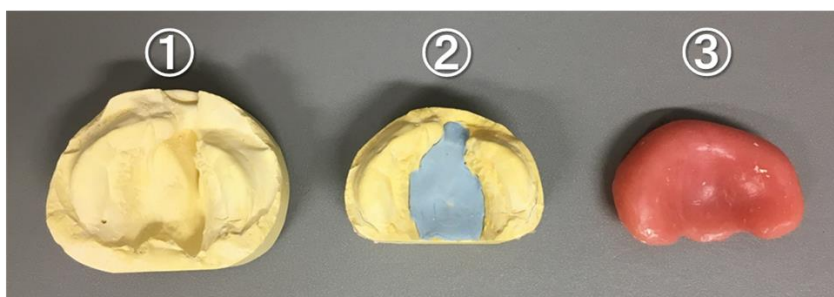


岡山大学病院
OKAYAMA UNIVERSITY HOSPITAL

口唇裂・口蓋裂
総合治療センター



ホッツ床を出来るだけ早期にお渡しする
取り組みを始めました (要事前連絡・当院を受診の方)



ホッツ床 (写真③) は、生まれてからできるだけ早期に口の中に装着することで、口蓋裂を伴って生まれた赤ちゃんの哺乳が可能になります。

岡山大学病院口唇裂・口蓋裂総合治療センターでは、事前に来院のご連絡を頂くことで、準備を十分に行い、できるだけ早期にホッツ床をお渡しする体制を整えました。状況により、その日に簡易的な装置をお渡しすることも可能です。

このような哺乳に関する問題がございましたら、ぜひ、当センターまでご相談ください。

<お問い合わせ>

岡山大学病院口唇裂・口蓋裂総合治療センター
矯正歯科 教授 上岡 寛
(電話番号) 086-235-6690
(FAX番号) 086-235-6694



岡山大学は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。